

第5回 生活科学系コンソーシアム シンポジウム

「家庭科教育のさらなる充実を目指して—今 問われること—」

主催 生活科学系コンソーシアム

趣旨

現在の成熟社会における国民生活の現状を考えると、生活に関する社会的課題が山積しており、**家政学(生活科学)**及び、その内容を次世代に伝える**家庭科教育**の一層の充実が必要であります。そのため、ここ数年、生活科学系コンソーシアムが主催するシンポジウムにおいて、各構成学会の視点から家政学、及び、家庭科教育のあり方についてのご意見をいただいております。

しかし現状では、社会一般の家政学に対する認識は必ずしも高くありません。加えて、現在進められている教育改革*においても、家庭科教育の充実の方向性を見出すことはできません。

このような家庭科や家政学にとっての危機的な状態を憂慮し、本コンソーシアムの一員である日本学術会議 生活・健康科学委員会 家政学分会では、家庭科教育の充実や家庭科教員の質の向上を目指し、**提言「生きる力のさらなる充実を目指した家庭科教育への提案—」**(案)をまとめています。

このたび、その提言をより充実させるためにも、広く関連のみなさまのご意見をうかがうことが必要であると考え、構成学会のご同意の上で、本シンポジウムを企画いたしました。家庭科教育のより一層の充実に向けて、みなさまの活発なご議論をどうぞよろしくお願い申し上げます。

*：これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～ (答申) (中教審第184号)、次期学習指導要領改訂に向けたこれまでの審議

日時 2016年12月22日(木) シンポジウム 13:30～17:00 交流会 17:10～18:30
場所 文化学園大学 シンポジウム：C館7階 C071、交流会：C館20階 201(スペース21)
〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1 <http://bwu.bunka.ac.jp/access/>
連絡先：機能デザイン学研究室 03-3299-2336
アクセス **【最寄駅】新宿駅 JR(山手線・中央線・総武線・埼京線・湘南新宿ライン)、**
地下鉄(都営新宿線・都営大江戸線・丸の内線)、小田急線、京王線
【行き方】新宿駅南口、甲州街道改札下車。甲州街道に沿って初台方面へ徒歩7分

プログラム：13:30 開会の辞
13:35～ シンポジウム趣旨説明 5分
講演 各60分(5分間の質疑応答を含む)
・家庭科の現状と課題(13:40～14:40)
石井克枝((一社)日本家政学会・会長、淑徳大学・教授)
・小・中・高等学校の家庭科教員養成と、家政系大学・大学院における教育・研究との関わり(14:40～15:40)
片山倫子(日本学術会議21期会員、22期連携会員、23期特任連携会員、東京家政大学・名誉教授)
15:40～16:00 休憩 20分
16:00～17:00 ディスカッション
17:00 閉会の辞
17:10～18:30 交流会